

# 薬用植物園かわらばん

いま、こんな草木も楽しめますよ！  
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2023年  
8月7日  
第154号



## マツリカ (モクセイ科)

温室内で白い花が咲いています。別名がアラビアンジャスミン、中国語名が茉莉花、アジアの亜熱帯地方が原産の常緑の低木です。花をジャスミン茶（茉莉花茶）の原料として、緑茶やウーロン茶に香り付けとして利用します。香気成分はcis-ジャスモンとジャスモン酸メチルで、精油を利用した香水としても流通します。中医学では、葉、花がそれぞれ茉莉葉（マツリヨウ）、茉莉花（マツリカ）となり、葉が清熱解表を目的に外感発熱に、花が理気、和中を目的に、腹痛、下痢などに利用されます。なお、ジャスミンとはソケイ属植物の総称になり、当園にはオウバイモドキがあります。なお、温室にあるニオイバンマツリ（アメリカジャスミン）はナス科、カフェテリア前の講義棟西側壁にあるカロライナジャスミンはゲルセミウム科で、科から異なる植物種です。

## キバナオランダセンニチ

(キク科)

第一圃場で黄色い花を咲かせています。南米原産と言われている多年草で、和名の由来は、花の形状がセンニチソウに似ていて、オランダから伝わったからだそうです。別名としてタマゴボールやハトウガラシと呼ばれ、英語名はtoothache plantで、直訳すれば「歯痛草」です。実際に局所麻酔作用があり、直接患部に触れさせることで、歯痛に対する有効性を示します。東南アジアやマダガスカルなどでは香味野菜として使用され、新鮮の葉や花をサラダとして食用されているほか、インドでは噛みタバコにブレンドしたりするそうです。辛味成分は脂肪酸アミドのスピラントールで、サンショウに含まれるヒドロキシ $\alpha$ サンショオールと近い化学構造をしており、温度感受性TRPチャンネルを介する作用を示します。